

## 令和3年度学校推薦型選抜Ⅰ採点基準

問1.

### 模範解答

図1からは、1950年以降、人口はほぼ一定の割合で増加し続けていることが分かる。また、世界の漁業生産量は、1950年には2,000万トン弱であったが、1987年頃まで増加傾向を維持し、4倍以上の9,000万トン程度まで増加している。しかし、それ以降の漁業生産量は約9,000万トンで頭打ちの傾向を示しており、一人当たりの水産物の供給量は減少していることが分かる。図2からは、漁獲量のうち約7割に相当する6,500万トンが直接的に人の食料として利用される一方、3,000万トンは魚粉として加工され、水産養殖や畜産の飼料として利用されていることが分かる。また、漁獲したもの商品価値が低い等の理由により海上で投棄される量が2,700万トンあり、漁業生産量と投棄量を足した全ての漁獲した量に対する投棄の割合は約20%であることが分かる。(331文字)

### 採点のポイント

- ・図1においては、1950年以降、人口がほぼ一定の割合で増加し続けていること等を読み取れていること。また、漁業生産量は1950年以降増加の一途をたどったが、1987年頃においては9,000万トン弱程度で頭打ちの傾向を示していること等が読み取れていること。
- ・図2においては、漁獲量のうち、約7割が直接的に人の食料として利用され、約3割は水産養殖飼料や畜産飼料として利用されていること、人の食料としても、養殖魚・家畜の餌としても利用されない、海上での投棄量が多い事等が読み取れていること。
- ・図から得られる情報を適切に読み取り、論理的に記述されていること。

問2.

### 模範解答

世界の人口増加が続く現状において、今後、水産物によって人類の食料を賄うためには、漁業生産量のうち、人の消費に当てる量を増やす必要がある。そのためには、漁業生産量を増やす、魚粉の利用量を低減し人の食料として利用する、養殖生産量を増やす等の方法が考えられる。漁業生産量を増やすためには、海上で投棄されている多くの漁獲物を食料あるいは魚粉の材料として利用することが考えられる。そのためには、現在投棄されている漁獲物の商品価値を高めるために、それらの未利用資源の利用法を開発するとともに、販路を構築する等の必要がある。また、養殖生産量を増やすことも対応の一つと考えられ、魚粉の利用量を維持あるいは低減しながら養殖生産量を増やすために、与えた餌料の量に対する成長率の高い餌の開発や、餌料中の魚粉に代わる代替えの材料の開発が必要と考えられる。(365字)

### 採点のポイント

- ・世界の人口が増加する一方、漁業生産量は伸びない状況において、水産業が人類の食料を賄うこと前提とした対応に対する自身の考えが、図1および図2から提示される情報に基づき、論理的に考察され、その内容が記述されていること。